

一般国道398号水浜道路改築事業

1. 路線の概要

一般国道398号は、石巻市を起点に、女川町、石巻市雄勝町、栗原市築館を經由して秋田県由利本荘市に至る全長287kmの広域幹線道路として地域間の産業振興、交流文化等に重要な役割を果たしている。

本路線の南三陸沿岸部は、リアス式海岸の風光明媚な観光資源に恵まれ、豊かな漁場を抱える反面、その特有の地形により急勾配で道幅が狭いうえにカーブが連続するため見通しも悪く危険なことから早期の整備が望まれていた。これを受け昭和62年度より特に道路状況の悪い女川町指ヶ浜から石巻市雄勝町唐桑までの全長4.6kmの事業に着手し、土工の他橋梁3箇所及びトンネル2箇所の主要構造物を整備、完了したものである。

この供用によって地域の生活道路としての利便性や安全性が向上されるとともに、地域産業の活性化にも大きく寄与するものと考えられる。

2. 事業の概要

1) 施工年度

昭和62年度～平成18年度

2) 施工場所

女川町指ヶ浜（雄勝町境）～石巻市雄勝町唐桑

3) 事業計画

総事業費 76億円

計画延長 4,600m（現況6,275m）

幅員 11.0m [=2.5+0.75+3.25+3.25+1.25]

計画交通量 4,535台/12h：H22（現況3,127台/12h）

道路規格 3種2級 設計速度 60km/h



雄勝トンネル（旧道）



分波トンネル

3. 主要構造物

なみいた大橋 L=111m 事業費 804百万円

分波トンネル L=462m 事業費 1,221百万円

水分トンネル L=186m 事業費 760百万円

新水浜大橋 L=164m 事業費 830百万円

本浜橋 L=63m 事業費 270百万円



